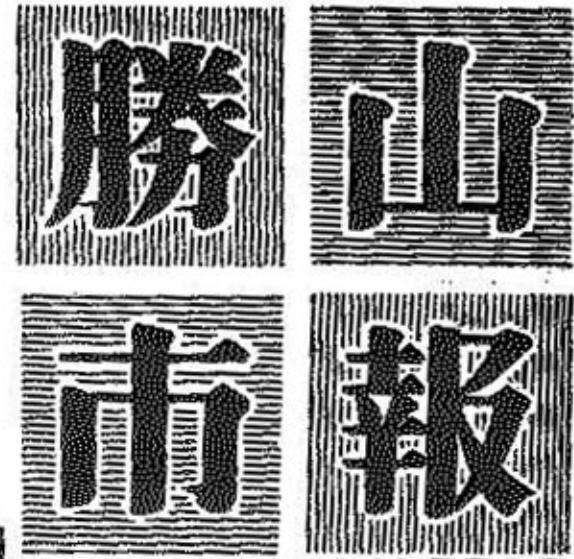


11月20日 No. 76

主な目次

- ◇11月臨時市議会から.....(2)
- ◇貯蓄は先づ話し合いから.....(2)
- ◇市森林組合の発足.....(2)
- ◇四海傍聴席(96才の叫び).....(2)
- ◇表彰に輝く人たちと団体.....(3)
- ◇国勢調査の結果.....(4)
- ◇秋季全国火災予防週間(防火心得帳).....(4)



體の四十

六ヶ年医者いらすの南さん一家

……それは平泉寺町は戸数二十四戸の部落、岩ヶ野に住む南繁大郎(36才)さんの家族です。田畠七五アールの農業を営み、副業に炭焼きなどをしている。ご当人はすごく実直そうで私たち一行を笑顔で迎えてくれる。妻のよし子(34才)さんは、洋子(1才)ちゃんを抱えて母ユル(6才)さんとのあとに野良着姿で出て来られる、つづいて長男の都志男(11才)君、長女の登茂江(9才)さん、三男の伊三郎(3才)君のよい子らと共に七人が勢ぞろい……晩秋のやわらかい日ざしを浴びて十四の瞳は明るく、見るからに健康で幸福そうであつた。

……23日に6ヶ年連續健康優良家庭として市長から表彰される……

臨時市議会

11日午後2時開会

本会議に先立ち午前九時から全員協議会で勝山社会保険勝山病院の改革に伴う土地問題その他計画の実情について同病院の河北院長高村事務長からくわしい説明と山内市長の補足があり、議会側では勝山病院は市内でたった一つの総合施設なので、ここに着手を挙げて協力することを確約するのほか次のとおり市の提出議案五件を慎重審議して午後二時からの本会議(出席議員三十七名)において原案どおり可決確定しました。

△賛成三十一年度勝山市一般金計収入歳出追加予算の件
△昭和三十一年度勝山市一般金計収入歳出追加予算の件
△消防施設整備事業費経営に関する専決処分の件
△防火水槽、消防ポンプ、消火栓などの施設整備の完全を期すために、要する事業費に充当、本年度において金三百五万円を日本損害保険会社より起債したものである。
△水道施設事業費起債に関する専決処分の件
△予算外業務負担変更の件

因みに氏の略歴は次のとおり。

衆議員選舉

旧制大野中
学卒、福井
師範二部専
攻科卒、大

学卒、福井
師範二部専
攻科卒、大

海席
四傍

96才の叫び

拳は絶好
の投票日
和、ど
ろで市長
寿界の最
長老であ
る北郷町
伊知地、田中ハツさん(九十六才)は息子の嫁、たけ(六一才)さんにリヤカーで午前十一時半ごろ投票場へ付添え役のたけさんに助けられながらもさすが年みなには争われぬもの、その場に腰をおろして低い声で「ウラ病気しないけど足が弱くて立ってられん、だけど協議会の誕生をみたがこのほど本会では初代議員会をひらき具体策を協議した。方針としては貯蓄思想の普及は常時啓発を目標に団体、グループ、家庭などのあらゆる機関を通じて活動を進める。

既報のとおり、市貯蓄運動推進会は初代議員会をひらき具体策を協議した。方針としては貯蓄思想の普及は常時啓発を目標に団体、

投票せん人もあるそうやけど、モタナイニコッチャ」と投票箱をいつまでもおがんでいる。選挙には投票をかかしたことがない田中おばあさんの投票

市森林組合の新規足をみました

市役所三階に市森林組合の事務所を九月から設けました。造林補助、伐採調整資金調入等はか森林に関してなんでも組合員各位(鹿谷町を除く)のご相談に応じていますが遠い方々の場合には従来通り、それぞれの出張所へお申込みになれば取りつきすることになっていますからせいさい利用ください。

市教委欠員に池田四郎氏
を完了する。
どちら起訴した。
因みに本年度は総二半の約七割
千七百万円を大蔵省資金運用部な
どから起訴した。

市教育委員会委員就任にともない次員となつたので、その後任として市内下元孫居住の池田四郎氏(五八

個人276名
団体 97

表彰に光輝く人たちと団体

11月23日勵労感謝の日に

来る二十三日勵労感謝の日……市では功労あつた団体、個人にたいし、その功績をたゞえるために成器西小学校で午後一時から市長の表彰がありおわづてから盛り沢山な余興が催されます。

表彰は各部門別にみると自治功労者十二名、群衆家三名と団体一、優良納税組合八六、健康優良家庭二百六十一名で次のとおり……。(略敬称)

尚、本年五月に松文産業株式会社から青少年の奨学資金にと百万円、ならびに勝山兄弟株式会社より巡回文庫の資金に三十万円、それぞれ当市に寄附されたそのご厚意にむくゆるため、両会社にたいして同日市長より感謝状と記念品がおくられる。

地方自治功労者

◎公職在職十五年
以上野向町、藤井克治▲村岡町、笠川嘉六▲北谷町
加藤清右五門

◎保健衛生思想の普及と予防、衛疫等に尽力
成器西小学校々医、山内進

◎社会教育に尽力
逕羽町、沢田治郎右エ門▲上元
禄、竹下外来男

◎多年学校教育に尽力
村岡小学校長、近藤勤兵衛▲野向小学校長、玉木一雄▲成器西小学校教諭、春木利子

◎連続二ヶ年
立石(四三)、上袋田(五四)、下袋田(六一)、中央同志(一七八)、
中井繁栄(四八)、下高島(一五)、北市(一一)、あさひ(一三)、勝山郵便局(二七)、勝山市職(四八)、
堀尾(一六)、大矢谷(三一)、小矢谷(一七)、岩ヶ野(一四)、岩ヶ野(一四)、勝土寺(六九)、善見(一一)、五本寺(一)
(一) 内は組合員数

◎林業の開発振興
左エ門◎住民の厚生福祉
郎右エ門◎連続六年完納組合
猪野口(三一)、猪野毛屋(一五)、
(一六)、北六呂師(二六)、河合(二九)、杉山(三三)、比島(三五)◎連続五年完納組合
下元禄、梶田闇英

猪野(二四)、牛ヶ谷(二七)、杉俣(二四)、北山(一五)。

◎連続四年完納組合

元禄(二五)、沢新道(二四)、松文(九四)、勝山酒販(二五)、下毛屋(三三)、坂東島(二六)、新道(二一)。

○昭和三十四年度分完納組合
下元三区の二(二一)、勝山北(六七)、芳野(四四)、上高島(一五)

◎連続三年の部

北宮地(一九)、西妙金島(一七)、
上森川(三四)、下森川(二二)、上野(二三)、大袋(四八)。

立石、木村はつ子▲下長瀬、石田さく▲宮田、細野広吉▲芳野、東五市▲上芳野、中村新造▲赤尾、福田平治▲淨土寺、森口すゑの▲猿倉、門口ヘル▲小原、長谷川伝▲谷、大竹口平太郎▲谷、刈安留▲西野初枝▲清水島、中道まさゑ▲矢戸口、田部りの

◎連続二年の部

下元禄、山尾とみ▲上元禄、宮川勉▲上元禄、三好秀子▲立川、梅田作兵衛▲立川、龍木実▲下後、穂積田鶴▲富田、左近作与作▲沢黒田廣治▲芳野、加藤勝治▲片瀬丸山益雄▲平泉寺、若島はる、青木尚子、坂本せつ▲赤尾、中村ゆき▲寺尾、前田与衛▲小原、中村岩松▲谷、南茂はつ▲谷、山崎市松▲松田、森下工▲布市、島田湾雄▲志比原、小林弥作▲保田、牧野寿▲矢戸口、辻五市▲本郷、島田島伊▲志田、石田保▲志田、石田高次郎▲志田、大久保しづゑ▲新道、横山みゑの

◎一年の部

下元禄、島田藤五郎

外四四十七名

○二年の部
滝波、平沢とし、外五十三名

○一年の部

下元禄、島田藤五郎

外四四十七名

○三年の部
下元禄、山尾とみ▲上元禄、宮川勉▲上元禄、三好秀子▲立川、梅田作兵衛▲立川、龍木実▲下後、穂積田鶴▲富田、左近作与作▲沢黒田廣治▲芳野、加藤勝治▲片瀬丸山益雄▲平泉寺、若島はる、青木尚子、坂本せつ▲赤尾、中村ゆき▲寺尾、前田与衛▲小原、中村岩松▲谷、南茂はつ▲谷、山崎市松▲松田、森下工▲布市、島田湾雄▲志比原、小林弥作▲保田、牧野寿▲矢戸口、辻五市▲本郷、島田島伊▲志田、石田保▲志田、石田高次郎▲志田、大久保しづゑ▲新道、横山みゑの

外四四十七名

立石、木村はつ子▲下長瀬、石田さく▲宮田、細野広吉▲芳野、東五市▲上芳野、中村新造▲赤尾、福田平治▲淨土寺、森口すゑの▲猿倉、門口ヘル▲小原、長谷川伝▲谷、大竹口平太郎▲谷、刈安留▲西野初枝▲清水島、中道まさゑ▲矢戸口、田部りの

外四四十七名

立石、木村はつ子▲下長瀬、石田さく▲宮田、細野広吉▲芳野、東五市▲上芳野、中村新造▲赤尾、福田平治▲淨土寺、森口すゑの▲

人口 36,536 國勢調查世帶 7,584

10月1日に実施された昭和三十五年国勢調査は、10年にいちどの大規模調査で調査項目、内容も複雑をきわめ、調査実施上相当な困難をともないました。

36、600市民あてのご協力と190名の調査員の努力と熱意によって円滑な実行に達行できました。

ご協力を感謝いたします。

昭和35年国勢調査…男女別人口数						
地区	世帯数	男	女	合計	増減	
勝山	3,829 (8,673)	7,803 (8,073)	9,572 (9,435)	17,375 (17,508)	(-)	133
北郷	576 (601)	1,377 (1,480)	1,547 (1,633)	2,924 (3,113)	(-)	189
荒土	529 (524)	1,332 (1,383)	1,489 (1,537)	2,821 (2,920)	(-)	99
野沢	353 (359)	945 (1,028)	906 (1,015)	1,851 (2,048)	(-)	192
村岡	552 (516)	1,287 (1,333)	1,506 (1,459)	2,873 (2,792)	(+)	81
北谷	352 (375)	831 (927)	873 (933)	1,704 (1,860)	(-)	156
辻羽	289 (278)	699 (736)	815 (821)	1,514 (1,580)	(-)	46
鹿谷	679 (708)	1,565 (1,643)	1,726 (1,855)	3,291 (3,498)	(-)	207
平泉寺	425 (423)	1,068 (1,120)	1,115 (1,142)	2,183 (2,262)	(-)	78
合計	7,584 (7,452)	16,987 (17,726)	19,549 (19,830)	36,536 (37,558)	(-)	1,020

上欄()は昭和30年国勢調査結果です。

市と教委共催第三回市民人制バレーボール大会(男女混合)が開かれたが、AゾンとBゾンの駆除チームである北郷町の新町チームと平坂寺町の大渡チームの間に優勝を争い結果二〇で新町チームに田中教員長

— 11月26日～12月2日 —

防火心得帳

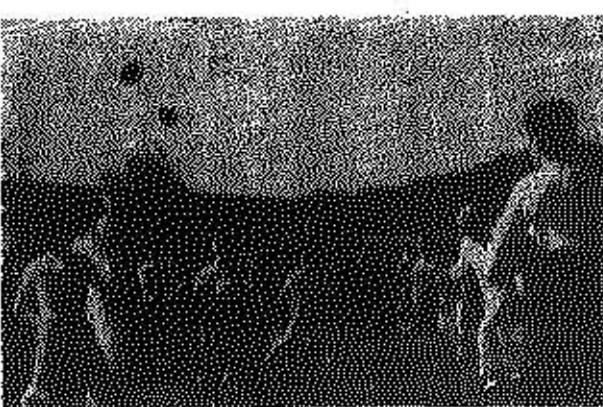
この調査の最終的な結果は、總理府統計局において公表されます
が、市でまとめた男女別人口を那
表のとおり勝山市人口概数として
公表いたします。

の城▽
を消化できない？

見られる。しかし人はごらんの
とおり、〇二〇人の減でありま
す。これは昭和三十一年以後ちょ
うど織物工場不況時代を契機とし
て青少年の労働人口が年々都會地

どどい

および工業都市へ異動したのを始め、二三男のはか出稼者が県外へ異動するのが目立っています。転出者は男が多く女が比較的に少いのは策立就職者のほとんどが女であるためと、当市の産業では男の労働力を消化できない点にあるものと考えられます。



から優勝杯が贈られた